

相生山緑地自然観察会

団体の目的・主な活動内容

■目的

自然観察を通して、自然に親しみ、自然のしくみを学び、自然保護・保全の大切さを伝え、広めることを目的とする。

■活動

- ・観察会
- ・調査・保全・保護活動
- ・ガイドブック・冊子などの企画・執筆
- ・各関係機関とのパートナーシップ事業
- なごや生物多様性センター、生涯学習センター 他
- ・他団体との情報交換など



▲吸蜜中のアサギマダラ

平成 27 年度の活動について

- ・プロジェクト「みんなで作ろう 相生の森公園」全 5 回講座実施
- ・名古屋市への提言：プロジェクト「みんなで作ろう 相生の森公園」➡ 成果物を届ける
- 定例観察会：毎月第 4 日曜（ただし 10 月は第 3 土曜）に、四季折々の植物・昆虫・鳥などをテーマに実施
- 上記以外の特別活動
- 5/13(水) 講座「相生山緑地におけるヒメボタル保全活動について」 於：なごや生物多様性センター
- 5/15(金) 天白もり・フォーラム：「そっと観察しよう～ヒメボタル」
- 10/ 3(土) なごや生物多様性保全活動協議会主催「カマキリー斉調査」 於：相生山緑地オアシスの森
- 10/ 4(日) 同上
- 10/11(土) 旅をするチョウ “アサギマダラのマーキングをしよう” 於：東山植物園
- 10/25(日) 天白区主催：白区民まつりにブース出展（クラフト、パネル展示）
- 11/27(金) 天白生涯学習センター主催：相生山緑地の秋の魅力
- 11/ 1(日) なごや生物多様性センターまつり：ブース出展（パネル展示）

団体の情報

主な活動場所 相生山緑地オアシスの森（天白区）

相生山緑地自然観察会

TEL/FAX：(052) 822-7460 E-mail：kimiko.k@chorus.ocn.ne.jp

ウェブサイト：http://ngyaioi.blogspot.jp/

■例会の予定：毎月第 4 日曜（10 月のみ第 3 土曜）

愛知守山自然の会

団体の目的・主な活動内容

平成 16 年から守山区の小幡緑地を拠り所として、より良い自然環境の保全と保護を目的に ①一般参加者向けの自然観察会の実施 ②せせらぎ湿地の保全・保護 ③マメナシなどの希少生物の保全 ④研修や各種イベントの参加など、楽しみながら、活動をしているボランティア団体です。全国トンボ市民サミット、県内の湿地サミット、三重県桑名市多度町八壺谷でのマメナシ保全に参加しています。

日常的には、守山自然ふれあいスクール実行委員会、なごや森づくりパートナーシップ連絡会、なごや生物多様性保全活動協議会の行事に積極的に参加しています。



△マメナシ自生地保全

平成 27 年度の活動について

- ・4 月 三重県・県内のマメナシの調査ツアーを実施しました。
 - ・5 月 地元の要請を受け、田原市七つ山にあるナガボナツハゼの保全にきました。
 - ・5～7 月 守山生涯学習センターのマイスター講座を担当し、5 人の方が入会されました。
 - ・10 月 田原市黒河湿地群落他で行われた湿地サミットに、会として参加しました。
- 8 月から守山区内の「マメナシのある風景」事業活動で守山土木事務所・守山区まちづくり推進室などと連携し、蛭池の地元での愛護会結成を目指して 7 回の会合を持ち、2 月には金城学院大学でのマメナシの講演会を企画しました。
- 3 年間にわたってせせらぎ湿地で行われた木道工事は 3 月で完成。トンボ池は引き続いて修復します。

団体の情報

主な活動場所 小幡緑地本園内 せせらぎ湿地・マメナシ自生地

愛知守山自然の会

TEL/FAX：(052) 711-3087 E-mail：noriyoshibob@yahoo.co.jp

■例会の予定

【自然観察会】毎月第 2 土曜日 10：00～11：45（小幡緑地本園トンボの時計台前 9：45 集合）

【保全活動日】毎月第 2 水曜日・第 4 日曜日 10：00～12：00（小幡緑地本園内（せせらぎ湿地・マメナシ自生地））

雨池ホタルの会

団体の目的・主な活動内容

名古屋市守山区御膳洞（ごぜんぼら）にある名古屋市立大森北小学校と道路を挟んだ隣に、ため池と公園が一緒になった名古屋市内で 1000 番目に整備された「雨池（あまいけ）公園」があります。平成 10 年 5 月末、会員の 1 人が雨池の外周道路を犬と散歩中に偶然ホタルを見つけました。その後、多くの人が輝くように光る自然の神秘に心を動かされ、雨池周辺のホタル生息地の保全に立ち上がりました。

「守山自然ふれあいスクール」検討部会にスタッフ参加して、多くの人に雨池公園の自然の素晴らしさを理解してもらい、一緒に守ってもらおうと思っています。その他、桜並木やマメナシの保全活動、公園周辺のゴミ拾い、池の浮遊物の撤去、草刈り、花壇作りなど、豊かな自然環境が育まれるように活動しています。



▲さくら道の保全活動

平成 27 年度の活動について

- ・毎月第 1 土曜日午後 8 時から 1 時間ほど、大森交番前に集まって、地域の防犯パトロールを行いました。
- ・毎月第 2 及び第 4 土曜日は「雨池公園愛護会」として、雨池周辺の清掃活動、「春の小川」の雑草除去と花壇の手入れを行いました。平成 28 年度の特別活動として、8 月 22 日（土）に総勢 86 名の参加者で「夏だ！元気にあそぼう」（魚釣り、ザリガニ釣り、スイカ割りなど）と 12 月 5 日（土）に「さくら並木保全講習会」（守山土木事務所の応援を受けて、樹木匠の板倉賢一さんによる実演講習）を行いました。後日、講習会でのお話を受けて、定例活動日に桜の根元から少し離れた場所にダブルショベルで多数の穴を掘って、有機肥料を施しました。子供たちを楽しんでもらえる雨池公園を目指しています。
- ・5 月末にホタル観察会を行い、100 名ほどの参加者がありました。地元有志による楽器演奏などもあり、大人気でした。その後、雨池周辺でのヒメボタルの観察を行いました。
- ・3 月には大森北小学校 PTA と共催で「もちつき大会」を行いました。

団体の情報

主な活動場所 名古屋市立大森北小学校の学校隣接公園である雨池公園周辺

雨池ホタルの会

TEL：(052) 792-0022 E-mail：okamura@sda.nagoya-cu.ac.jp

■例会の予定：毎月第 2 及び第 4 土曜日、午前 10 時から

荒池ふるさとクラブ

団体の目的・主な活動内容

荒池ふるさとクラブは、平成 16 年から荒池緑地で保全活動を行っています。

活動目的は、名古屋市と地域との協働で策定された「荒池なごやかファーム構想」の趣旨に賛同し、荒池緑地を次世代に引き継ぎ、生物多様性を保全し、自然との共生を目指します。活動内容は、自然観察（植物、昆虫、野鳥など）、緑地の整備、水田 / 畑の耕作、果樹の栽培、間伐竹の炭焼き、間伐材を利用したクラフト、各種イベントへの参加、近隣小学校の総合学習の協力などを行っています。

活動日は、第 1 土曜日は運営委員会、定例活動日は第 2 土曜日・第 3 日曜日・第 4 土曜日です。



▲田植え

平成 27 年度の活動について

緑地の整備（竹林、雑木林）と水田での稲作を中心に、里山の風景の復元を目指した活動を行いました。

主な月別活動は、4 月に植物観察会、5 月に田植え、6 月と 1 月に天白土木事務所と農業センターと共催で、筈と果樹の収穫体験を一般募集した市民と協働で実施。7 月にはなごや生物多様性保全活動協議会の協力を得て、水田の生き物調査と緑地の昆虫生息調査、天白消防署の協力による安全講習会の開催。水田の稲作関係では、8 月に案山子づくり、9 月に天白区役所の天白自然体験スタンプラリー参加者と稲刈りを、10 月に脱穀と粃摺り、12 月に収穫祭で餅つき大会を開催。11 月は 5 月に植え付けしたサツマイモの芋掘りと新たな活動エリアの二つ池エリアの整備、12 月に正月に向けたミニ門松としめ縄を作成。1 月には緑地内に設置した巣箱の整備と荒池の冬鳥観察会の開催。2 月と 3 月には間伐竹で炭焼きを実施。10 月に天白区民まつり、11 月に農業センターまつりのイベントに竹細工で参加。年間を通じ竹林と雑木林の整備は主体活動として実施。

団体の情報

主な活動場所 荒池緑地

荒池ふるさとクラブ（代表 熊岡篤史）

TEL：(052) 832-4415 FAX：(052) 832-4418 E-mail：atushi-k0712@docomo.ne.jp

ウェブサイト：<http://www.geocities.jp/araikefurusato/> 《「荒池ふるさとクラブ」で検索》

■例会の予定：第 1 土曜日 運営委員会、第 2 土曜日 定例活動日、第 3 日曜日 サンデー定例活動日、第 4 土曜日 プラスワン定例活動日

活動時間：10:00～15:00 / 集合場所：農業センター指導館ロビー

44

かんでらmonzen亭「笠寺ミツバチプロジェクト」

団体の目的・主な活動内容

笠寺まちづくり団体「かんでら monzen 亭」の活動の一つ。笠寺観音商店街屋上にて西洋ミツバチの飼育を行い、商店街活性化の他、ミツバチの育つ安全な環境づくりをテーマに、無農薬の花や野菜づくりの事業も推進する取り組み。平成 25 年より正式にプロジェクトを開始、ミツバチの飼育応援団と花づくり応援団を構成し、ミツバチを通じた環境教育講座を執り行い地域活性化事業を継続中。

平成 27 年度の活動について

季節に準じたミツバチ育ての内検作業とともに、採蜜や蜜ろう採取など商店街活性化の地域資源として活用の計画に基づき、みつばち食堂の無農薬畑で育てたらっきよを、はちみつ漬けにした新商品も作成、28 年春に販売開始。環境づくりにおいては、小学校トワイライトとリハビリテーション病院の 2 会場にて、「ミツバチの不思議」連続 3 回講座を実施、ミツバチの環境における役割や共存などをテーマにワークショップを行った。また、図書館主催の蜜ろうキャンドルづくりイベントや地域ものづくりイベント、名古屋市商店街組合イベントにも参加、地域の人々との交流を深めた。



団体の情報

主な活動場所 笠寺観音商店街界隈を中心とした地域

かんでら monzen 亭「笠寺ミツバチプロジェクト」

TEL : (052) 822-0885 FAX : (052) 822-5466 E-mail : kasadera@minamix.net

ウェブサイト : <http://machiwiki.sakura.ne.jp/>

■例会の予定 : かんでら monzen 亭 毎月第 2 土曜日 9 時～ 11 時

ミツバチプロジェクト 毎週 1～2 回 (季節に準じて)、花づくり第三土曜日 10 時半～ 11 時半

雑木林研究会

団体の目的・主な活動内容

◆目的

人間と自然のよりよい関係が模索されている中、雑木林（里山林）を一つのモデルとして取り上げ、フィールドをめぐるながらその役割を解明し、今日的価値を探究することによって、両者の新たな共生関係を見出す。そして、かつての役割を失い、放置されつつある雑木林の新たな活用法を探る。

◆主な活動内容

・オープンセミナー ・研究会 ・フィールドワーク ・研修ツアー ・協働参画活動など

◆これまでの主な活動テーマ

・子どもと雑木林（雑木林の教育力・木育） ・アートと雑木林（雑木林の創造力・グリーンウッドワーク） ・公園空間としての雑木林 ・ヒーリング空間としての雑木林（雑木林の治癒力） ・住民参加・協働の場としての雑木林 ・里山保全活動と市民講座 ・里山型公園緑地のマネジメント ・里山林と木質バイオマスエネルギー ・里山林の水循環・水源涵養機能・雨水利用 など。



平成 27 年度の活動について

◆年間テーマ 里山林と水循環・水源涵養機能・雨水利用

●オープンセミナー ・2015/2/15 第 1 回オープンセミナー：森の水循環と里山の生物多様性保全活動

●研修ツアー ・2015/4/11～12 武蔵野の水みち野川を訪ねて

・2015/6/20 森林の水環境・東京大学生態水文学研究所赤津研究林を訪ねて

●参画活動 ・第 8 回雨水ネットワーク会議全国大会 2015in 愛知

団体の情報

主な活動場所 特定の活動場所は持たない

雑木林研究会

TEL/FAX : (052) 262-3181 E-mail : k-mayumi@aurora.ocn.ne.jp

■例会の予定 : 毎月第 1 月曜日 午後 7 時より

中部蜘蛛懇談会

団体の目的・主な活動内容

- 目的：クモ類に関わる採集、観察、調査、研究など
- 創設：1969年
- 会員数：140名・全国（2016.2月現在）
- 会誌「蜘蛛」年1回発行
- 通信誌「まどい」年3回発行
- 総会・研究発表会・懇親会：毎年2月11日（建国記念日）
- 各地の観察会：三重・中部の合同合宿 7月下旬

平成27年度の活動について

（事業年度：2月～翌年3月）

○総会・研究発表会

平成28年2月11日：ウイルあいち セミナールーム6、40名参加

特別講演「日本産ハエトリグモ全種制覇への挑戦」東京蜘蛛談話会 須黒達巳さん

○主な活動

・各地観察会（全4回）

①5月10日：小幡緑地公園 21名参加

②6月20日：トヨタの森 19名参加

③9月6日：稲永公園 7名参加

④10月4日：大高緑地公園 21名参加

・三重・中部蜘蛛合同合宿 7月25/26日 岐阜県恵那市毛呂窪 笠置山山麓 13名参加

・サマースクール&夏休み子ども観察会：7月27日：八事興正寺・八事山散策路

・なごや生物多様性センターまつり：ブース展示：11月1日



▲総会・研究発表会 集合写真

団体の情報

主な活動場所 特定の活動場所を持たない

中部蜘蛛懇談会

TEL/FAX：(052) 522-1920（柴田 方） E-mail：machinami@hotmail.co.jp

ウェブサイト：http://chumo.web.fc2.com

■例会の予定：不定期（ウェブサイトを確認下さい）

なごや外来種を考える会

団体の目的・主な活動内容

2010年から名古屋市と周辺の地域で活動しています。「名古屋地域の健全な生態系を守る」ことが目的です。活動内容は「外来種の調査・駆除・啓発・情報発信」です。他との協働も積極的に行います。

平成27年度の活動について

5月～6月 協議会「オオキンケイギク部会の山崎川駆除活動」に携わりました。延べ214人でゴミ袋93袋分のオオキンケイギクを駆除できました。

4月、6月、9月に外来昆虫採取会を開催しました。西区新川でムシクロツバメシジミ、北区洗堰でラミーカミキリなど、瑞穂公園でヨコヅナサシガメ、キマダラカメムシなどを採取し、子供たちに外来昆虫の生態系への侵略性を実感してもらいました。

9月は「環境デーインなごや」に「アカミミガメ親子の比較展示」「外来種カード釣りゲーム」「外来種立体パズル」で出展しました。大人から子供まで外来種の問題を考えてもらえました。

10月は朝長昌樹先生の講師で「セアカゴケグモ・マダニの勉強会」をモリコロパークで行いました。野外活動において一番死亡率が高いのがマダニのSFTS感染かもしれません。感染予防や対応について学びました。

12月は愛知県からの要請で環境行政担当者を対象とした外来種研修会にオオキンケイギク対策の講師として講義をしてきました。各行政担当者に特定外来種オオキンケイギクを駆除するための主体的取り組みを要請しました。

1月は「トウネズミモチの駆除実験」を行いました。一般的に駆除しにくい外来樹木と言われていますが、除草剤などの薬品を使わずに、切り倒した切口に食塩を盛るだけで枯れる駆除方法の検証中です。



2015/10/25

団体の情報

主な活動場所 その都度検討

なごや外来種を考える会

TEL：090-8867-9725 FAX：(0561) 62-5510 E-mail：nonaka@kato-ken.co.jp

ウェブサイト：http://nagorai.org/ 活動ブログ：http://blog.goo.ne.jp/nagorai

■例会の予定：原則毎月の第1日曜日

「なごや環境大学」実行委員会

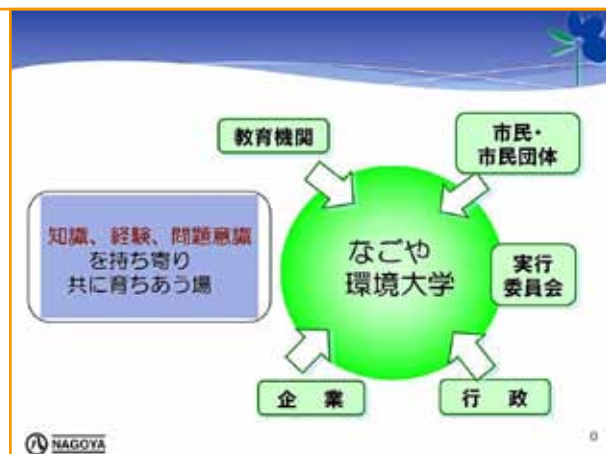
団体の目的・主な活動内容

なごや環境大学は、市民・市民団体、企業、学校・大学、行政が協働でつくる、環境活動のネットワークです。「環境首都なごや」そして「持続可能な地球社会」を支える「人づくり」「人の輪づくり」を進め、行動する市民、協働する市民として「共に育つ(共育)」ことを目指しています。2005年3月に開校し、10周年を迎えました。

平成 27 年度の活動について

平成27年3月に開学10周年を迎えたなごや環境大学では、平成27年度はこれまで培ってきた人とのつながりや経験、ノウハウを活かして、10周年記念事業を年間を通じて実施し、より多くの方になごや環境大学を知っていただく事業を展開しました。

- ・【7月11日、8月29日】AQUA SOCIAL FES !! 2015(2回128人)
- ・【9月19日】環境デーなごや2015 中央行事(650人)
- ・【10月11日】環境報告会&ワークショップ(287人)
- ・【1月10日】なごや環境大学10周年記念コンサート(1100人)
- ・【1月16日】なごや環境大学10周年記念シンポジウム(350人)
- ・【1月16日】なごや環境大学10周年記念シンポジウムレセプション(133人)
- ・【3月12日】リソースマッチング事業



団体の情報

主な活動場所 まちじゅうがキャンパス

「なごや環境大学」実行委員会

TEL/FAX : (052) 223-1223 E-mail : jimun@n-kd.jp

ウェブサイト : <http://www.n-kd.jp>

名古屋昆虫同好会

団体の目的・主な活動内容

この地球には様々な生物が暮らしています。その中で種数の半分以上を占める昆虫は、その生活様式をそれぞれの棲息場所の環境に適応させて、様々な進化を遂げてきました。様々な昆虫がいることを知ること、それらの昆虫が多様な生活をしていることを知ることなどは、私たちが自然を理解することの一つの入り口になります。そのような昆虫に興味を持った人々が集まった会が名古屋昆虫同好会です。

戦後間もない1949年に創立され、小学生から社会人、リタイア組みなど、地元名古屋を中心に、全国の約230名の虫が好きな人が入会しており、東海地方を中心とした全国の虫情報(データ・生態等)が掲載される会誌「佳香蝶」と、会員情報やよもやま虫談義などを掲載する連絡誌「NAPI NEWS」を、それぞれ年4回発行しています。

平成 27 年度の活動について

- ・「佳香蝶」「NAPI NEWS」を、年4回3ヶ月ごとに発行。
- ・1/11 年次総会の開催
- ・2/14、3/14、4/11、5/9、6/13、7/11、8/8、9/12、11/14、12/12 月例会
- ・10/18 虫供養(桃巖寺)
- ・4月ギフチョウ観察会 in 岐阜県中津川市
- ・7月採集会 in 岐阜県蛭ヶ野・石徹白

団体の情報

名古屋昆虫同好会(会長 間野隆裕)

TEL : 090-9924-3518 FAX : (052) 442-1503 E-mail : manotaka@muj.biglobe.ne.jp (連絡先全て会長宛)

ウェブサイト : <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~jpcat/meikon/>

■例会の予定：毎月1回、名古屋市千種区吹上の中小企業振興会館(通称吹上ホールのある会館)4階で、情報交換や名前調べ会などの例会を実施しています。



▲次世代育成採集会



▲シンポジウム

名古屋自然観察会

団体の目的・主な活動内容

名古屋自然観察会(正式名は、愛知県自然観察指導員連絡協議会名古屋支部)は、主に名古屋市内在住または在勤している自然観察指導員((財)日本自然保護協会による認定資格者)によって1982年に結成されました。現在の会員数は約100名です。主な活動場所は名古屋市内です。本会は、発足以来、身近な自然に親しみ、自然のしくみを理解し、自然を守るための自然観察会やそれに伴う環境保全活動などを実施しております。近年では、これらの活動と並行しながら、名古屋市環境局などと協力しながら、環境教育等の様々な活動を行っています。



▲ふるさと親子自然観察会(荒池緑地)

平成27年度の活動について

- ① 市内10箇所の緑地や公園などでその自然の特色を生かした自然観察会やネイチャ・フィーリングなどの特色ある自然観察会を実施しました。
- ② 子供の自然体験と健全な発育を促すための“なごや自然教室”を4回実施しました。
- ③ 名古屋市環境局環境学習センターと協働したふるさと親子自然観察会を5月に、エコパルワークショップを7月と8月に実施しました。
- ④ 8月になごや環境大学が事務局となって実施された名古屋気温測定調査に協力しました。
- ⑤ 名古屋市環境局の環境デーなごや実行委員会が主催する身近な自然体験会(6月)を実施し、環境デー中央行事(9月)にブース出展しました。
- ⑥ 名古屋市内の幼稚園や保育園、小学校などへ環境サポーターを派遣し、名古屋市環境局のエコキッズ事業を実施しました。
- ⑦ 10月になごや生物多様性保全協議会が中心となって実施されたカマキリ調査に協力しました。
- ⑧ 会員のスキルアップを目的とした研修会を3回実施しました。
- ⑨ 愛知県自然観察指導員連絡協議会が主催する様々な事業に参加・協力しました。
- ⑩ ホームページなどを通じて情報発信しました。

団体の情報

主な活動場所 市内の緑地や公園

名古屋自然観察会

TEL: (052) 782-2663 FAX: (052) 781-8127 E-mail: takilin@sf.starcats.ne.jp

ウェブサイト: <http://www.nagoyashizen.net/>

■例会の予定: 例会は実施していない。役員会は偶数月の第3日曜日

名古屋城外堀ヒメボタルを受け継ぐ者たち

団体の目的・主な活動内容

ヒメボタルを絆として、温かい心のつながりが広がるのが願いです。

1975年にお堀電車の駅員だった竹内氏が、ヒメボタルの大発生を発見し、その後専門家の指導のもと保護活動をされていました。氏ご逝去後、家族・知人・氏と交流のあった小学校教員と教え子や親御さん方等で受け継ぎ、その輪が縦や横に広がっています。

ホタル発光の時期は、毎晩ホタルの数を数えたり、人々をご案内したりしています。「外堀は空堀で、ヒメボタルは陸生」「都会の真ん中のお城にヒメボタルが自然発生していることは大変貴重であること」等正しい情報発信をするため、ブース出展やステージ発表・お話し会等を行っています。専門家の方のご指導を受けて調査も行います。市と外堀の草刈り等管理方法を相談したり、清掃も行ったりしています。

歌や絵本を作る・写真を撮る等、一人一人が自分にできることで活動をしています。



▲5月17日 昼間のホタル観察シュミレーション

平成27年度の活動について

- ホタルの時期(5・6月) 毎晩23時頃～2時頃、ホタルの数を数え毎日HPにUP、人々のご案内をしました。22時～外堀隣接の護国神社境内でお話し会(屋外のスライド上映や弾き語り等)を実施しました。
- 今年度のホタル成虫発生時期は、今まで観察してきた中で最も早く、予想外でした。例年は、5月の連休後から増えていき5月中旬～末にピークを迎えます。今年度は、連休前からどんどん増え、5月末のお話し会にはほとんど終息してしまいました。それでもお話し会には300人の方が集まってくださって温かい雰囲気でした。感謝です。
- 年々、深夜観察に来る方々の数が増えていることが嬉しいことであり、課題でもあります。生物多様性保全活動協議会から、課題対策のご支援をいただき、昼間に現地を観察する会を設けたり、通り道をコーンで作ったりしました。
- 「外堀を知ろう!体験会」では、市の方と共に、外堀の自然観察をしたり、清掃を行ったりしました。
- 調査として、ヒメボタルの生活環境を調べるために、地中温度計の設置をしました。年間を通して計測中です。

団体の情報

主な活動場所 名古屋城外堀(外堀通沿)

名古屋城外堀ヒメボタルを受け継ぐ者たち

E-mail: kazuyo29@gmail.com(事務局長 安田和代) ウェブサイト: <http://sotobori.sp.land.to/>

■例会の予定: 不定期(ウェブサイトを確か下さい)

名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科 附属生物多様性研究センター

団体の目的・主な活動内容

リンネの生誕 300 年 (2007 年)、ダーウィンの生誕 200 年 (2009 年)、杉浦昌弘 (名古屋市立大学システム自然科学) の文化功労賞授与 (2009 年) を受けて、名古屋市立大学では、2009 年度末に、生物多様性に関して多様な研究を行うとともに、啓発活動を継続的に行う研究センターを設立しました。本研究センターでは、「生物分類」「生物進化」「生物地理」「生態適応」「遺伝子資源の探索」「希少種の保全」など幅広いテーマで、生物多様性の理解と生態系の保全を目指して研究を進めています。また、全生物種について特定の遺伝子の塩基配列をカタログ化し、生きものの名前を遺伝子から特定できるシステムを作ろうという取り組み (DNA バーコード計画) に呼応して、当研究センターでは、東海地方の生物を手始めに、様々な生物群の DNA データを収集しています。御興味をお持ちの方はどうぞ見学に来てください。

平成 27 年度の活動について

多方面の方々のご協力をいただきながら、DNA バーコードデータベース作成のために、標本の収集と分析に力を入れてきました。カイ類、植物、コメツキムシ、ゾウムシなどの収集と DNA 分析の他、今年度は、とくに矢田・庄内川に生息するコイ、アユ、ヤマトシジミなどの生き物の遺伝子の多様性について分析し、なごやにおける地域個体群の遺伝的多様性について、外来種、放流などの影響についての情報が得られつつあります。

標本のDNA塩基配列決定

生物多様性研究センターでは、収集された試料を、動物組織の場合はアルコール浸漬標本として4℃で、植物組織標本と抽出したDNAは-30℃冷凍庫に保存しています。もとの生物標本の保存も同様に大切です。



試料収集と保存 → DNA抽出 → PCRによるDNA増幅 → 塩基配列分析



▲DNA バーコードを決める手順と実際に実験を行なっているところ

団体の情報

名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科附属生物多様性研究センター

TEL: (052) 872-5851 FAX: (052) 872-5857 E-mail: biodiv@nsc.nagoya-cu.ac.jp

ウェブサイト: <http://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/biodiv/>

なごやの森づくりパートナーシップ連絡会

団体の目的・主な活動内容

名古屋の自然を守り、育て、ふれあい、学び、後世に継承することをめざし、加盟団体間の連絡を円滑にし、お互いに協力しあうことにより、各団体の活性化を図る目的で設立されました。

平成 27 年度の活動について

- 平成 27 年度の加盟団体数 森づくりを楽しむ 29 団体が加盟
 - ・定例会の開催: 偶数月 第 2 金曜日 18:30 ~ 定例会の開催
奇数月 第 2 金曜日 18:30 ~ 幹事会の開催
 - ・フィールド訪問の開催
加盟団体の活動日に訪問し、研修会を兼ね課題の共有化を図る目的で現地訪問が 2 回行われました。
(H27 年 11 月 08 日) 大高緑地湿地の会・花水緑の会・大高竹の会
(H27 年 12 月 03 日) 天白公園整備クラブ
 - ・スキルアップ研修会の開催
(H28 年 3 月 27 日)
緑化センター講習室において
「森づくり活動と植物種の移動について」
講師名古屋工大保全生態学准教授・増田理子



▲フィールド訪問の様子

団体の情報

主な活動場所 名古屋市内の緑地

なごやの森づくりパートナーシップ連絡会

TEL/FAX: (052) 262-3181 (事務局)

ウェブサイト: <http://www.nga.or.jp/partnership/introduction.html>

《[なごやの森づくりパートナーシップ連絡会] で検索》

■例会の予定: 偶数月 第 2 金曜日 18:30 ~ 定例会の開催、奇数月 第 2 金曜日 18:30 ~ 幹事会の開催

(特非) なごや東山の森づくりの会

団体の目的・主な活動内容

「東山の森」に親しみながら森を学び、森の保全と再生を目指して森づくりをしています。

いのち輝く森を次世代につなげようと活動をしています。

雑木林・湿地・竹林の手入れ、森の観察・案内、森の調査、里山くらし体験 など。



平成 27 年度の活動について

毎年の活動は、雑木林・湿地・竹林の保全活動と生物多様性保全活動協議会の水生植物部会と東山新池の移入種スイレンの除去活動と水草の希少種の保全、猫ヶ洞池のヨシ原再生・ゴミ拾い WSも日本野鳥の会愛知県支部、生物多様性保全活動協議会と協働で実施しました 湿地の調査と両生類の産卵地の保全。

活動日数 約300日／年、活動人数約4,810人

団体の情報

主な活動場所 なごや東山の森

(特非) なごや東山の森づくりの会

TEL/FAX : (052) 781-2595 E-mail : takikawa-m@mtg.biglobe.ne.jp

ウェブサイト : <http://www.higashiyama-mori.sakura.ne.jp/>

■例会の予定

【定例森づくり】活動参加費：会員／無料・一般／200円

活動日時：毎月第1日曜日、7月～9月は9：00～12：00、10月～6月は10：00～15：00

集合場所：毎回異なります

活動場所：奇数月／いのちの森・うるおいの森（東山公園南部）

偶数月／くらしの森（平和公園南部）

NPO法人 日進野菜塾

団体の目的・主な活動内容

農薬や化成肥料を使わず、生きものといっしょにお米や野菜をそだてています。

都市農地の遊休地の活用方法を考えることから始まり、生きものとの共生、自然を守る観点から有機農法を選び、日本の伝統文化を学び、命がつながっていく営みを知り、命の大切さを知る、そんな場にしたいと考え、農体験教室、生きもの観察教室を行っています。子供の食育、環境教育、都市住民の農への理解、自然体験の楽しさ・魅力を日々発信続ける場となるよう奮闘・努力しております。又、地域の子育てNPO、介護団体、障がい者団体、大学や行政との連携・協同で、農がもたらす様々な効果、多面的活用をさぐっています。

平成 27 年度の活動について

- ① なごや生物多様性サマースクール2回
- ② 夏休み小学生向け生きもの・野菜教室2回
- ③ ハウス食品「食と農と環境の体験教室」5回
- ④ 生きもの観察コース(子ども生きもの調査隊)7回
- ⑤ 農業体験農園(指導付き農園)毎週土曜日(講義と実践)
- ⑥ 有機野菜の販売
(個人向けセット販売月2回、朝市月1回、随時イベント出店)
- ⑦ マンション住民向け農体験講座4回
- ⑧ 就労支援のための職場体験受け入れ
- ⑨ ダンボール生ゴミコンポスト講習会
- ⑩ その他、田植え、稲刈り、ハーブ教室、ミカン剪定収穫、イモ掘り、餅つきなど随時開催。

団体の情報

主な活動場所 日進市本郷

NPO 法人 日進野菜塾

TEL : 090-5443-1518 FAX : (052) 934-7207 E-mail : info@n-yasaijuku.com

ウェブサイト : <http://n-yasaijuku.com/>

■例会の予定：日曜日9：00～12：00



▲田んぼの中に入って生きものさがし



▲畑でいろいろな作物の姿を知る

日本カメ自然誌研究会

団体の目的・主な活動内容

本会は、カメの自然誌に関心のある研究者・ナチュラリスト・愛好家の交流・親睦・情報交換を目的とし、1998年に発足した研究会です。生息環境の破壊の影響で減少しつつある自然(野生)のカメと人との良い関係を保つためにはどうすればよいのかをみんなで考えています。交流のため年に一度「日本カメ会議」を開催しています。また在来のカメの保護や外来のカメの防除に関する、行政などの機関からの調査の要請も請け負っています。なごや生物多様性保全活動協議会が発行した「ミシシippアカミミガメ防除マニュアル」は本研究会が監修しました。



▲なごや生物多様性サマースクールの様子

平成27年度の活動について

- ・なごや生物多様性保全活動協議会の動物調査と保全対策部会の一員として、春から秋まで市内でカメの生態調査と外来ガメの駆除を行ないました。
- ・7月24日には、なごや生物多様性保全活動協議会主催の「なごや生物多様性サマースクール2015」の「カメを中心に水辺環境を観察しよう」で、植田川でのカメや魚の採集の指導や室内での学習に協力しました。
- ・7月25日には、なごや生物多様性保全活動協議会のメンバーでもある山崎川グリーンマップさんが主催された生き物観察会で、山崎川での水生動物の採集や学習に協力しました。
- ・7月29日には、アカミミガメ対策の立案のために名古屋市を訪れた環境副大臣の案内役を務めました。
- ・2月13日～14日に静岡大学で「第17回日本カメ会議」を開催しました。山崎川グリーンマップさんにも協力していただきました。
- ・他地域ではありますが、安城市本證寺の堀において5月～10月の初旬にカメなどの水生動物の生態調査と外来種駆除を、延べ24日行なっています。

団体の情報

主な活動場所 その都度検討

日本カメ自然誌研究会

住所：〒471-8532 豊田市大池町汐取1 愛知学泉大学矢部研究室内（事務局）

TEL/FAX：(0565) 35-8373 E-mail：kame@gakusen.ac.jp

ウェブサイト：http://www1.m1.mediacat.ne.jp/chelonian-1998/

■例会の予定：不定期（ウェブサイトを確認下さい）

日本野鳥の会愛知県支部

団体の目的・主な活動内容

日本野鳥の会は1934年（昭和9年）に創設され、全国に90の支部があります。愛知県支部は本部創設の4年後1938年に中京支部として誕生し今年で77年を迎えます。活動の柱として野鳥を通して自然の大切さ、楽しさを知ってもらう普及活動、野鳥とその生息域を守るための保護活動、生態や生息数等を調べる調査活動があります。

そのうち普及活動の一つ、探鳥会是一般の方に野鳥観察の楽しさを知ってもらうため、会員以外の方も参加できます。また、参加の予約や費用も必要ありませんのでお気軽にご参加下さい。探鳥会の詳細はHP又は毎週中日新聞、朝日新聞に掲載しています。詳しくは事務所（末尾参照）へ問い合わせして下さい。

平成27年度の活動について

本年度に限らず次のような活動を継続して行っています。

1) 普及活動

探鳥会：年間140回以上 参加者はおよそ2600名
愛知県弥富野鳥園野鳥観察指導、バードウィーク写真展開催、小学校における環境学習の手伝い

2) 保護・調査研究活動

愛知県定点調査（県内22箇所で40年以上継続中）、カウ調査 8箇所、サギ調査（東名阪弥富・蟹江 インターチェンジ）、コアジサシ調査 県内全域、木曽岬干拓地猛禽類調査



▲探鳥会の様子

団体の情報

主な活動場所 各地

日本野鳥の会愛知県支部

住所：〒462-0844 名古屋市北区清水五丁目10-8 グリーンフェロー3A（日本野鳥の会愛知県支部事務所）

TEL/FAX：(052) 912-9531 E-mail：front@wbsj-aichi.org ウェブサイト：http://wbsj-aichi.org

■例会の予定：不定期（ウェブサイトを確認下さい）

花水緑の会

団体の目的・主な活動内容

2002 年「花水緑の公園通り」と命名した公園を結ぶ道路を花一杯にするまちづくり運動としてスタートし、公園予定地を開墾して種から育てる花づくりに挑戦する会として発足。緑区内 21 か所で、「花と緑」をキーワードにしたまちづくり・緑づくりのグループです。

平成 27 年度の活動について

各部会に分かれて独自に活動中。

【定期活動】

- ・春の種まき (3 月末から 4 月) マリーゴールドなど。ポット移植 (5 月)
- ・初夏の花苗植え込み (6 月) 街路樹植えマス・公園花壇など
- ・秋の種まき (9 月) パンジー・ノースポールなど。ポット移植 (10 月)
- ・秋冬の花苗植え込み (11・12 月)

【年間を通しての活動】

各部会担当街路樹植えマス・公園花壇などの清掃・除草・水遣り等の維持管理。大高緑地の竹林・雑木林の保全・整備と竹炭づくり。

【イベントなどの参加】

あいち都市緑化フェア・みどりっ子体験フェスタ・なごやマイスター講座・身近な自然体験会・緑区クリーンキャンペーン・扇川緑道交流会・名古屋気温測定調査 2015・なごや生きもの一斉調査 2015・緑区区民まつり・上下水道交流イベント「エコ市」・ボランティアフェスティバル in みどり・みどサポフェスティバル



団体の情報

花水緑の会

TEL: (052)625-3878 FAX: (052)623-8191 (緑区区役所まちづくり推進室) E-mail: a6253871@midori.city.nagoya.lg.jp

■例会の予定: 不定期

主な活動場所 こもれび広場・大高緑地・扇川公園・通曲公園・扇川緑道・白土中央公園坊主山公園・上ノ山公園・滝ノ水緑地公園・清水山・鳴子中央公園・なるばーく・水広下・梨の木公園・左京山

特定非営利活動法人 藤前干潟を守る会

団体の目的・主な活動内容

藤前干潟の保全ならびに干潟環境の重要性についての啓発をすすめ、さらに広く伊勢・三河湾流域圏の環境再生・持続可能な社会実現をめざす。

平成 27 年度の活動について

・主催事業

「干潟の学校」

「ガタレンジャー養成講座」

「ガタレンジャー Jr.」

環境省・名古屋市等との共催事業合計 32 回 (748 名)

・各種団体・学校等からの依頼による体感学習合計 26 回 (1098 名)

・環境イベント等への出展 8 回

・環境省の委託による「稲永ビジターセンター」「藤前活動センター」の運営等



団体の情報

主な活動場所 藤前干潟周辺

特定非営利活動法人 藤前干潟を守る会

TEL: 080-5157-2002 E-mail: info@fujimae.org

ウェブサイト: <http://www.fujimae.org>

■例会の予定: 理事会毎月 1 回 (不定期)・総会年 1 回

三河淡水生物ネットワーク

団体の目的・主な活動内容

2008年2月に設立し、愛知県を中心とした爬虫両生類、魚類、貝類、水生昆虫類などの淡水生物とそれに関わる鳥類などの生物、ならびに、河川に関わる大学や水族館・博物館、行政などの関係者や研究者（アマチュアを含む）によって構成されたネットワークグループです。「研究者間の情報交換と交流の場の創出」、「水辺生態系保全に向けた、正確なデータの収集と提言」、「市民への啓蒙と情報の発信」を目的に、年4回の会合では専門家による話題提供のほか、情報や資料の交換、標本の同定や各々の関わる事業への相互協力など。フィールドでは調査による水生生物相の把握と同時に、希少生物や外来生物の生息データの収集・蓄積。また、より多くの方に、楽しく気軽に生き物や水辺環境に関心を持って頂けるよう、水族館や博物館への展示協力、観察会やシンポジウムの講師、研究発表、研究会誌や博物館館報への投稿など、広く情報を発信しています。そのほか、図鑑をはじめとする出版物への写真の提供も行っています。



▲矢作古川分派施設工事現場切り回し水路の水生生物調査

平成27年度の活動について

矢作古川分派施設建設に伴い、工事開始前の2012年には矢作古川の該当区域における水生生物調査、2014年6月には工事区間のかいぼりで水生生物の救出と調査を行い、碧南海浜水族館の年報に投稿しました。

浅香智也・地村佳純・向井貴彦・西浩孝・白金晶子・鳥居亮一・西原均（2015）矢作古川分派施設工事の水路付け替えにともなう魚類などの水生生物の救出と調査。碧南海浜水族館・碧南市青少年海の科学館年報，27：27-32
2015年10月には、工事現場の切り回し水路において国土交通省豊橋河川事務所との共同で水生生物調査を行いました。

また、「レッドリストあいち2015」、「レッドデータブックなごや2015」で執筆および協力をしました。

団体の情報

主な活動場所 愛知県全域

三河淡水生物ネットワーク

E-mail：fw-life@katch.ne.jp

ウェブサイト：http://www.geocities.jp/fw_life/

名東自然観察会

団体の目的・主な活動内容

豊かな自然環境を後世まで残す為、自然環境を意識する人を増やす事を目的として自然観察会と田んぼの体験講座を行い、参加者が楽しんで活動を行うことをモットーに活動を行っています。自然を大切にする人の参加大歓迎です。「春」「夏」「秋」「冬」自然との対話を楽しみましょう。

平成27年度の活動について

- ・名古屋市名東区猪高緑地において
毎月第2土曜日9:30～
定例自然観察会を開催しました。年間参加者数350名
- ・猪高緑地内に復元された棚田において
5月から11月まで
田んぼ体験教室を開催しました。年間参加者数498名



▲自然観察会の様子



▲田んぼ代掻き体験の様子

団体の情報

主な活動場所 観察会／名古屋市名東区猪高緑地
田んぼ体験／いたかの棚田

名東自然観察会

TEL/FAX：(052) 704-1196 E-mail：hori-tamori@nifty.com

ウェブサイト：http://homepage3.nifty.com/horitamori/ 《[名東自然観察会]で検索》

■例会の予定：活動日／毎月第2土曜日9:30～、名東生涯学習センター前集合

田んぼ体験については、上記あて問い合わせください。または、なごや環境大学共育講座でも行いますのでそちらで確認ください。

もりづくり会議

団体の目的・主な活動内容

わたしたちは、身近な森である鎮守の森をよりよく保全するため、またその方法を検討していくために、千種区の城山八幡宮を主なフィールドとして活動を行っています。小規模な会ですが、みんなで案を出し、様々な企画をわきあいあいと行っています。

もりの保全活動を通じてつながる、人の輪づくりも大切にしています。お気軽に活動を見に来てください。

平成27年度の活動について

本年度に限らず、今までの活動について紹介します。

月1回、定例会議と定例活動を行っています。定例活動の主な内容は、基礎的な活動として、清掃、シュロ・ササの除伐、樹名板の製作と設置等を行い、季節的な活動として、モミジ、アベマキ等の苗作りと植樹、生きもの観察会、クラフト作成などを行っています。年末の忘年会では、メンバー自作のゲームやプレゼント交換などを楽しみながら一年の活動を振り返ります。これまでに、なごや生きもの一斉調査のカマキリ編(2015年)や陸貝編(2012年)などにも参加してきました。

2016年からは、サイドワークとして植物を観察しながらのトレッキングもはじめました。現在、犬山取水場から、名古屋市千種区にある鍋屋上野浄水場に導水するルートに整備された緑道を、5回に分けて歩いています。



団体の情報

もりづくり会議

E-mail: morikaigi66@gmail.com

■例会の予定: 月1回、定例会議と定例活動

守山リス研究会

団体の目的・主な活動内容

1990年から名古屋市東谷山を中心として生息する野生のリス・ムササビをはじめ哺乳動物とその生息地の調査・保全を目指し(動物たちの都市計画づくり)、名古屋市や周辺地域の住民が「ふるさとの宝」として思い、守っていく「二つのまちづくり」を統一していく活動を目指しています。宝には地域の歴史、文化を含めた保全を住民、学校、農家、関係団体と協同で実施しています。

- (1) 生息する野生のリスをはじめとする哺乳動物とその生息地の調査・保全、
- (2) そのために名古屋市や周辺地域の住民が「ふるさとの宝」として思い、守っていくまちづくりを進め、
- (3) 地質や自然の調査保全に獣害、外来種などの対策や神社・古墳の歴史、文化を含めて調査学習し、全てを記録に残して関係者に報告しています。



▲なごや環境大学共育講座でリス捕獲時の体重計測

平成27年度の活動について

- (1) 複数の自動撮影装置を1年中森に設置して動物のフン調査・テレメ調査の組み合わせで、繁殖・棲み分け行動を調査(ニホンリス、ムササビ、ニホンイタチ、ニホンキツネ、ニホンテン、ニホンカモシカ、アカネズミ、イノシシ、カイネコなど)
- (2) なごや環境大学共育講座、環境デーなごや、東海シニア大学講座、生涯教育センター講座、緑化フェア出展、ぼらマッチ・ボラちゃり活動、名古屋市科学館、地球子ども村中国人団体へのワークショップ活動やリス捕獲・テレメ調査紹介
- (3) 地域との連携として農家と獣害調査対策(イノシシ、アライグマ、ハクビシン、キツネ)の実施、神社との連携で参道改修、植樹、建設したパイオトイレ毎日掃除、雨水400貯水・浄水化、ロケットストーブ研修と設置により地域の災害避難地としての整備を実施。
- (4) 調査をする中で小中学生の観察力強化・環境教育をするだけでなく、大学生5人のボランティア単位取得のため半年間インターン研修指導、を始め中部大、中京大、名城大の学生を多数受け入れてボランティア体験・環境教育を研修実施。

団体の情報

主な活動場所 東谷山・森林公園ゴルフ場・森林公園 岐阜金華山 軽井沢 嬬恋

守山リス研究会

TEL/FAX: (052) 795-2616 mobile: 090-9191-0087 E-mail: risuken@kzc.biglobe.ne.jp

ウェブサイト: <http://www.asahi-net.or.jp/~fb4m-iszk/risuken> (現在新規立上げ中)

■例会の予定: 定期調査/毎週土曜日 9:30 ~ 13:30

なごや環境大学共育講座+リス捕獲調査: 第3土曜日 9:30 ~ 14:00

矢田・庄内川をきれいにする会

団体の目的・主な活動内容

きれいにする会は昭和49年12月27日に結成(会則は翌年5月制定)されました。当時の日本は高度成長期の真っただ中にあり、水も大気も汚れるのが当たり前の時代でした。その時、きれいにする会は「庄内川水系を汚すすべての汚染源に対し、きれいで快適な生活環境をとり戻し、次代へ引きつぐ」ことを目的として掲げ、活動を開始しました。活動41年です。



平成 27 年度の活動について

1. 庄内川水系における河川環境改善の試みと生物生息調査
○名城大学附属高校瀬への投網講習 ○庄内川へアユを呼び戻そうイベント ○天然アユ遡上調査 ○庄内川藤前干潟二枚貝調査 ○第5回庄内川水系天然アユ釣り大会 ○庄内川祭り第41回釣り大会
2. 志段味ビオトープ・才井戸流
○志段味ビオトープカワラナデシコの栽培 ○第5回ホテル観賞会 ○ホテル幼虫調査 ○志段味ビオトープで遊ぼうイベント
3. あいち森と緑環境活動・学習推進事業
○矢田川魚道の生き物調査・環境整備活動 ○矢田川で魚を捕ろうイベント ○身近な水辺再生と川の健康診断 ○矢田川の源流を訪ねよう
4. その他
○名古屋市委託の庄内川・矢田川・才井戸流の水質検査 ○27年度活動報告書の発行

団体の情報

主な活動場所 庄内川水系一庄内川・矢田川

矢田・庄内川をきれいにする会

TEL: (052) 794-3876 FAX: (052) 796-2344 E-mail: cs6ibbvr@na.commufa.jp

ウェブサイト: <http://blog.canpan.info/kireinisurukai>

■例会の予定: 不定期 (ウェブサイトを確認下さい)

山崎川グリーンマップ

団体の目的・主な活動内容

山崎川の在来種保護が活動の基となっています。そのために外来種の防除、地域の人たちを巻き込むため、理解をするために生き物観察会や昔の样子の聞き取り調査を行っています。

平成 27 年度の活動について

①島型カメ罠を使った外来種カメ捕獲

4月末～5月のほぼ1か月間、山下橋下流と落合橋下流の2カ所に、浮島型カメ罠を設置。ほぼ一か月間でミシシippアカミガメの雄 22 匹、メス 27 匹を山崎川から取り除きました。昨年度に比べ、捕獲数が減っているのは、ミシシippアカミガメ防除の成果が上がり、数が減っていることの証だと思えます。

②6月6日

千種区大島町で、川原小学校の児童を対象にした生き物観察会を実施。参加者は、川原小学校児童 28 名をふくむ 41 名。瑞穂区の山崎川では見られないヒメタニシ 1 とめったに見ることがないシジミ数匹とヨシノボリ 1 を捕獲。

③夏休み生き物観察会、カメ教室 7月26日(土)

参加者は、おもに瑞穂区内の小学生 50 名を含む 91 名。クサガメ 6、大型テナガエビ 36、ギンブナ 16、コイ稚魚 5、その他アユ 2、ヌマチチブ 1、ゴクラクハゼ 4、ボラ 2、ハイイロゲンゴロウ 2、ウキゴリ 1、スミウキゴリ 34、ヌマエビ 60、ドジョウ 12、シジミ 1、ザリガニ 5、ブルーギル小 3、カダヤシ 40、イシガメ ♀2、クサガメ ♀2 ♂4、スッポン ♀2、アカミミ ♀3、モクズガニ 2・・・以上新捕。クサガメ♂1、クサガメ♀1・・・以上再捕。観察会で、はじめてアユ2匹を捕獲しました。

④昔の様子聞き取り

夏休みを中心として、随時行いました。2016年2月には、2009年より続けてきた山崎川の昔の样子の聞き取りの総集編を 2000 部完成させました。この活動は、2015 年度日本自然保護大賞・入選となりました。2016 年 3 月 6 日に名市大本部棟で聞き取りの発表会を開催しました。



▲夏休み山崎川生き物観察会



▲3月6日山崎川いま・むかしセミナーの様子

団体の情報

主な活動場所 山崎川 瑞穂区内

山崎川グリーンマップ

TEL/FAX: (052) 841-6048 E-mail: a-ohya@sc.starcat.ne.jp

ウェブサイト: <http://www1.m1.mediacat.ne.jp/a-ohya/>

■例会の予定: 未定 (ウェブサイトを確認下さい)